

ECのためのAI活用講座

2026.1.20

コマースデザイン株式会社

今日やること

AI活用はまず「個人で使う」段階を経て、「組織で活かす」段階へと進化 していきます。今日は、実際に手を動かしながら、AIの活用と社内浸透を体感しましょう。

- **今日のゴール**

- まず、自分の仕事でAIを活用（沢山の利用例に触れる）
- 次に、社内でAIを広める方法を理解（業務フローのAI化）

- **今日学ぶこと**

- 個人利用編：収集する→分析する→加工する
- 社内展開編：社内浸透→定型プロンプト→独自開発

今日やること(補足)

一番ベーシックな「ChatGPT」を使って実習しますが、Gemini/Claude勢の方も、気にせず同じプロンプトで実習してください。画像生成AIについても触れます。

- **Gemini3について**

- 画像生成(NanoBananaPro)とhtml生成の機能が高い

- **紹介予定内容**

- モデル合成、商品紹介マンガ、LP生成など



会社紹介



会社概要

会社名	コマースデザイン株式会社
代表者	坂本悟史
事業内容	EC経営コンサルティング、マネジメントコンサルティング、 EC研修、ECツール提供、ECセミナー・講演
支援実績	澤井珈琲、ヤッホーブルーイング、タマチャンショップ、こだわり安眠館 他
資本金	1,000万円
設立	2008年2月26日
所在地	東京都渋谷区南平台町7-9 DENFLAT南平台 103

支援実績

支援企業 (コンサル・EC研修)

述べ **700** 社以上

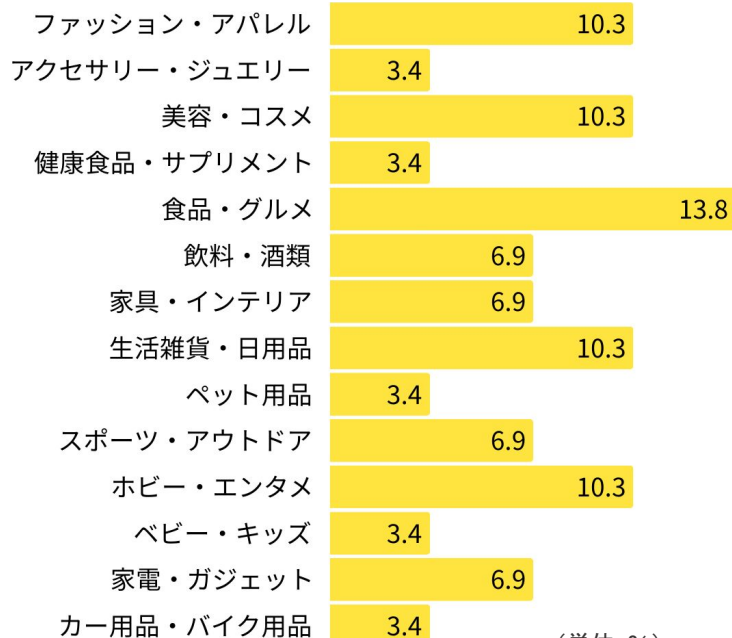
※2008年～2025年1月

一人店長から上場企業まで、初心者から業歴0年のベテランまで、
さまざまな規模・業種のネットショップの成長を支援しています。



支援先ジャンル

食品、美容、趣味用品など、支援先のジャンルは多岐にわたります。



(単位: %)

出版した書籍

売れる！ EC事業の経営・運営
ネットショップ担当者、チームのための成功法則。



「これからのEC経営」を語り尽くす1冊。様々な販売施策、仕入・製造や受注・出荷などの業務効率化、AIを活用する組織運営、商品開発やブランド化などの戦略まで網羅。

[> 詳しく見る](#)

売れるネットショップ開業・運営
新100の法則



多くEC関係者に愛読頂いている、通称・「黄色本」。「商品の特徴に合わせた店舗運営ノウハウ」を体系化。累計販売部数12.6万部を突破！おそらくEC本で一番売れています。

[> 無料立ち読み](#)

マンガで納得！ インターネット販売
売れるネットショップ開業・運営



「黄色本」を漫画でわかりやすくした1冊。全てのページに、ぷっと笑える、EC現場の『あるある漫画』つき。「黄色本は難しくて挫折した…」人でも、スイスイ読めます！

[> 無料立ち読み](#)

主要サービス (価格は税抜)

(1) EC経営コンサルティング

- 何でも相談できる、顧問的コンサル
- 売上UPや効率化など経営全体を改善



月10万円～

楽天を中心に各モール・本店まで対応。
セオリーを習得しながら業績UP！

> 詳しく見る

(2) マネジメントコンサルティング

- 経営者と現場の両方を支援します
- 煮詰まった状態を、短期集中で打開

経営者・EC責任者の方に好評！

中小ECチームに余裕を作る！
マネジメントコンサルティング

2人～10人程度のECチームを変革し、
滞りなく仕事が回る状態を作ります。
成長のための「余裕」を作りましょう！
当社代表 坂本が直接サポートします。



月24万円～別途見積

弊社代表の坂本が、直接担当します。組織全体を
見直し、スッキリ進む状態を作ります。

> 詳しく見る

(3) EC3ヶ月研修

- 3ヶ月で「ECの運営の全体観」を習得
- 経営者の学び直し、管理職や新人の育成



3ヶ月 28万円

「なるほどそうだったのか」と日々の迷いが減ります。
AI活用など最新ノウハウも満載！

> 詳しく見る

講師紹介



坂本 悟史(さかもと・さとし)

コマースデザイン株式会社 代表取締役

楽天でのECコンサル・マーケ経験を経て、妻である川村と共に同社を設立。前著『売れるネットショップ開業・運営』は、ベストセラー。中小企業の実態を理解して寄り添うスタンスで、規模を問わず多くの店舗から高い評価を得る。ブログ「ECバカー代」では、マニアックに業界動向を継続発信中。中小店舗の個性が活きる「豊かな EC業界」を本気で目指している。

川村 トモエ(かわむら・ともえ)

コマースデザイン株式会社取締役

ライターからEC業界に転身。商品コンセプト立案やキャッチコピーなど「売れないオリジナル商品」の立て直しを得意とし、「伝わる」文章を駆使してヒット商品を多数企画、更に「売れる表現」を駆使したページ制作の実績も多数。中小規模の店に対して、再現可能な考え方を中心としたコンサルティングを提供。特に、クライアントとのコミュニケーションに定評があり、自己成長を促すような背中を押すサポートを得意とする。



EC事業者のAI活用は、4段階で進化する

AI活用のレベル感は、こんな感じで高まっていきます。

「1かなり便利 → 2無いと仕事できない → 3業務が前提から変わる → 4事業が化ける」

- **フェーズ1: AIに慣れる(かなり便利)**
 - 質問する、相談するなど。常にかけておく。
- **フェーズ2: 作業を手伝ってもらう(AI無いと仕事できない)**
 - 情報収集、分析、加工・実行など幅広く使う。
- **フェーズ3: 個人業務の自動化(前提から変わる)**
 - 作業のテンプレ化、自分用ツール作成、複数ツール接続など
- **フェーズ4: 全社展開(事業が化ける)**
 - 「ECはスマホの存在が前提」と同じくらい「AI前提の事業」へ変革。社内業務を整理・再定義し、AIを組み込んでいく。

まず、個人として使いこなす。

次に、会社全体でAIを活用していく。

- **1 初心者編**

- 基本のおさらいと、社内で広めるための「一歩目」

- **2 個人利用編**

- 収集する: 社内外から情報を集め、まとめる
- 分析する: 文章・画像・数字を分析し、価値ある情報を引き出す
- 加工する: 文章や画像や図解やHTMLやツールを作る

- **3 社内展開編**

- 定型プロンプト : AI用途を誰でも使えるテンプレートにして配る
- 業務フローのAI化: 業務を俯瞰し、独自プロンプトを作る

初心者向けのポイント ～社内浸透のために～

スタッフにとってAIが使いづらい理由



- **何をしてほしいか文章で説明する必要**
 - AIに、状況を理解してもらうのが大変
 - ex.「検索対策」と言うとGoogle前提になる
- **忙しいのに・・・**
 - イチイチ前提を説明するのが手間
 - 慣れる前に「自然と使わなくなる」

「EC専用AI」を使ってみる→現場に浸透しやすい

「EC業務の相談相手」としてカスタマイズされたカスタムGPT「コマのすけ」。GPTの知性に加え、EC知識と「コンサルの会話スキル」を身につけています。>事例1 >事例2

- **EC支援のために作られたAIです！**
 - 330ページのEC専門書の内容を丸ごと学習済
 - だから、いちいち説明する必要がありません
 - 「RSLの値上げがさあ・・・」とか言ってもOK
- **曖昧な依頼でも、優しく聞き返します！**
 - だから説明が苦手な人でも大丈夫！



スマホ版も便利。プライベートで使ってAI慣れしよう



ChatGPT o3 >



ドアノブが外れて開かなくなりました。外れたノブはあります。どうしたらいいかな

思考時間: 17 秒 >

写真を拝見すると、ラッチ（かんぬき）を回す四角い芯（スピンドル）だけが残り、外側のノブ（握り玉）が抜け落ちた状態のようです。芯さえ動かかせれば開きますので、以下を試してみてください。

① まずはドアを開ける



質問してみましょう



o3 X



ChatGPT o3 >



幅のもの)

2. 芯をつかんで回す

- ・写真中央の四角い芯を工具でしっかりつかみ、
- ・右開きドアなら時計回り
- ・左開きドアなら反時計回りに 20～30° 回してみてください。
- ・ラッチが引っ込み、ドアが開くはずで

3. 開かなければ

- ・芯が空回りする・固着して動かない場合は、
- ・上下2本の真鍮色ビスを外して黒い丸座ごと前面プレートを外し、
- ・ラッチ本体を直接回す（奥に見える金属板をドライバーで押す）
- ・それでも無理なら無理をせず鍵業者へ。



質問してみましょう



o3 X



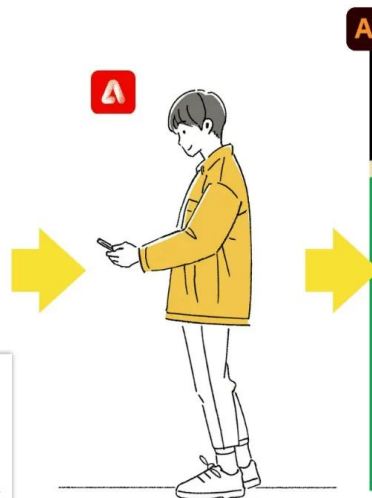
人間のように会話できます(ボイスモード)

人間と遜色ないスピードで回答します。壁打ち相手をしてくれます。事例(21:34)
近い将来、CS業務などで使われるようになるでしょう。



画像生成AIの解説(後で紹介します)

画像生成AIは、実用レベルに到達しました。ただ、テキスト版のAIと違って、色々注意点があります(ex.日本語の文字入れは苦手だった)。解説していきます。事例



個人利用編

まず、個人として使いこなす。
次に、会社全体でAIを活用していく。

● 個人利用編

- 収集する: 社内外から情報を集め、まとめる
- 分析する: 文章・画像・数字を分析し、価値ある情報を引き出す
- 加工する: 文章や画像や図解やHTMLやツールを作る

● 社内展開編

- 定型プロンプト : AI用途を誰でも使えるテンプレートにして配る
- 業務フローのAI化: 業務を俯瞰し、独自プロンプトを作る

ChatGPTの使い方には、収集する・分析する・加工するの 패턴があります。それぞれの利用パターンを理解して、自分の業務に使えるようになります

収集する

- SNSのリサーチ
- ニュースコンテンツ収集
- モールのリサーチ
- YouTubeのリサーチ
- 社内情報の調査
- アイデア出し
- 検索リサーチ

分析する

- 要約する
- データ分析する
- 画像を解析する
- ログを解析する
- 文章スタイルを分析する
- 品質をチェックする

加工する

- 長文を書く
- 既存の文面をリサイクルする
- 画像を作る
- 図解を作る
- HTMLを作る
- ツールを作る

これからワークをやります。進め方

- 1 用途と例を説明・実演します。
- 2 自分の仕事では何に使えるかな？と考えて、実践して下さい。

- **1 私が、用途説明 → 実演します**
 - 「〇〇という用途があります」
 - 「実践するとこんな感じ」
- **2 「自分の仕事で使うなら」を考え、実践してください**
 - 「こういう使い道がよさそうだ」
 - 「やってみたら、こうだった」

個人利用①: 収集する

ChatGPTの使い方には、収集する・分析する・加工するの 패턴があります。それぞれの利用パターンを理解して、自分の業務に使えるようになりましょう

収集する

- SNSのリサーチ
- ニュースコンテンツ収集
- モールのリサーチ
- YouTubeのリサーチ
- 社内情報の調査
- アイデア出し
- 検索リサーチ

分析する

- 要約する
- データ分析する
- 画像を解析する
- ログを解析する
- 文章スタイルを分析する
- 品質をチェックする

加工する

- 長文を書く
- 既存の文面をリサイクルする
- 画像を作る
- 図解を作る
- HTMLを作る
- ツールを作る

「ネットで調べて」と依頼すると、AIの知識だけでなく、最新情報を含めた回答が得られます。さらに、調べるサイトを指定できます。→ **自分の用途を考えてみましょう**

● 「ネットで調べて」の例

- ×「インスタで売上を伸ばす方法を教えて」
- ○「インスタで売上を伸ばす方法について、専門家の情報をネットで調べてまとめて」

● 「サイト指定調査」の例

- 「楽天サーチで○○ランキング上位商品を調べて」
- 「インスタで○○を発信するアカウントを調べて」
- 「[Amazon.com](https://www.amazon.com)で日本の食材の成功事例を調べて」
- 「社内のGoogleDriveから○○を探して」※設定が必要

段階的リサーチ

複数のステップをまとめて依頼することで、調査から分析、比較までを一度に実行できます。→
自分の用途を考えてみましょう

- **段階的リサーチの例**

- 「楽天市場で『骨取り鯖』の売れ筋商品を複数調べて」
- 「各商品の共通アピールポイントと違いをリストアップ」
- 「表形式で比較できるように出力して」

- **ポイント**

- 検索→情報抽出→比較→整理を一度に依頼
- AIが調査から出力まで自動で実行
- 市場分析や競合調査に最適

アイデアのResearch

用途と例を紹介します。十分実用的です(この形で企画した商品が実際に発売されています)。

→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **用途**

- **自分の願望を伝えて、「その実現方法」を聞く**
- **「考えてもなかったアイデア」が出てきます。**

- **例**

- **商品の企画:「椎茸の粉末を使った商品のアイデア」**
- **訴求の検討:「こんにゃく粉を使ったパンが購入される理由」**
- **採用促進:「こういう会社で受注スタッフの応募が増える表現」**
- **コンテンツ:「○○な商品を販売する店のYouTube脚本作成」**

小技:「追加指示」を試す

収集した後に「追加指示」を出すことで、内容を磨いていけます。一度で完成させようとせず、段階的に改善していくのがコツです。

- **基本**

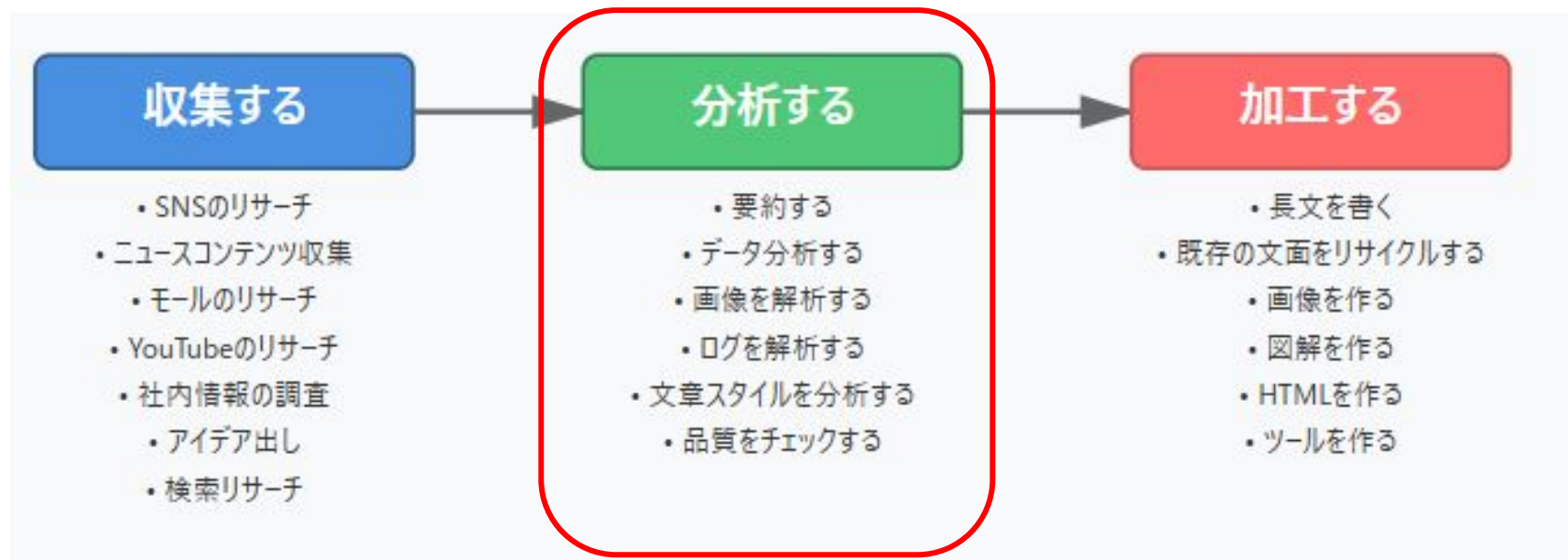
- 要約:「箇条書きにして」「要点だけ抽出して」
 - 「ここまでの話をすべて振り返って整理して」
- 増量:「もっと詳しく書いて」「事例を3つ追加して」

- **応用(おすすめ)**

- 「もっと端的にまとめて」「高校生でもわかる言葉で」
- 「これが60点だとしたら、100点になるよう磨いて」
- 「小企業向けに現実的に書き直して」

個人利用②: 分析する

ChatGPTの使い方には、収集する・分析する・加工するの 패턴があります。それぞれの利用パターンを理解して、自分の業務に使えるようになります



分析について

データを渡して、加工してもらいます。言葉数の少ない依頼よりも、大量の情報やデータを渡したときに、AIは真価を発揮します。

- **文章を分析**

- 要約、要点の抽出
- 構造化して整理・目次化

- **データ分析**

- 画像からテキストを抽出したり、構成を言語化
- Excelのデータをそのまま渡して意見をもらう

- **品質CHK**

- 文章校正・HTML記述ミスの発見

長文を分析

読めないボリュームの文章を、さくっと分析します。指示は「要点まとめて」「○○に絞って整理」「どうしたらいい？」など。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **基本**

- 長文ブログ、社内文書、マニュアルなど
 - **長文ブログ** やレビュー要約なら、「Ctrl+A,C」と「Ctrl+V」
 - ファイルならPDFなどを添付

- **応用**

- Youtube動画の文字起こしを取得→要約
- 社内会議を録音→文字起こし→議事録作成
- 「会議の内容をまとめて、重要アクションを抜き出して」

コミュニケーション履歴を分析

長文の資料や議事録、商談履歴などを要約してもらうことで、情報整理の時間を大幅に短縮できます。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **要約の使い方**

- 社内のチャット履歴をコピー
 - Ctrl+A → Ctrl+C → Ctrl+V
- 「これは社内チャットです。何が起きているか整理して」

- **活用場面**

- 行き違いや混乱した状況を整理、意見をもらう
- 追加指示:どうすればいい？

画像を分析

用途と例を紹介します。手近な画像で試してみましょう

→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **用途**

- 画像を渡して処理をします。実演
- テキストの抽出、レイアウトのアドバイスなど

- **例**

- 「この画像の文字を抽出して」
- 「この画像を文章で表現して」→ 画像生成に転用
- 「テキストを取り除いて写真だけにして」
- 「正方形に切り抜いて縦横700pxにして」

数字を分析

用途と例を紹介します。

→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **用途**

- Excelやスプレッドシートのデータをそのまま渡す
- 「これは〇〇のデータです。分析して」

- **例**

- 実演:商品別売上の昨対比を渡して、分析
- 日次別の各モール売上を渡して、傾向を分析
- 直近3ヶ月の数字を比較、去年と今年の数字を比較

用途と例を紹介します。意思決定支援は、「占い」くらいの気持ちで！

→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **用途**

- 文章校正・コード記述ミスの発見など
- 決められないときに代わりに決めてもらうなど

- **例**

- 「この文章、どうしたらもっと良くなる？」
- 「誤字脱字をチェック」「ファクトチェック」
- 「HTMLがおかしいので修正して」「採用、どの人がいい？」

小技: 入力の工夫

AIとのやり取りの方法を工夫することで、より効率的に作業できます。

- **方法1：分割入力**

- 「以下について把握して。コメント不要」
- 複数の素材を渡してから指示をする

- **方法2：音声入力**

- PCで音声入力 (Voice in、Aqua Voiceなど)
- スマホアプリ版で音声入力し、デスクトップで継続

個人利用③:加工する

※Gemini3編は後ほど

ChatGPTの使い方には、収集する・分析する・加工するの 패턴があります。それぞれの利用パターンを理解して、自分の業務に使えるようになります



加工について

調べた情報や整理した内容を「形あるもの」にします。
HTMLや図解、ツールなどを生成します。

- **何が作れるか**

- 長文を書く(社内マニュアルや書籍が作れます)
- HTMLで、特集ページや会社サイトやFAQページ
- 複雑な情報を、図解にまとめる
- 簡易ツールやアプリを開発する

- **方法**

- ChatGPTなら「Canvas機能を使って」
- Claudeなら「アーティファクト機能を使って」
- ※言わなくても勝手に解釈してくれますが、念の為

長文を作る

実は、この工夫でかなり長い文章を作ることができます。大量の情報を与えたあと、整理された文章にしてもらいます。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **目次化と記事生成**

- 高血圧についてネットで検索して調べて**目次**にして
- 目次の**1つめ**を詳しく説明して。**私がOKしたら次へ進んで**

- **有意義なリサーチや議論をまとめる**

- ここまでの内容をすべて振り返って**目次**にして
- 目次の**1つめ**を詳しく説明して。**私がOKしたら次へ進んで**
- ※ホントはGPTよりClaudeのほうが上手です

図解を作る

HTMLだけでなく、図解や簡易ツールも作れます。業務フローの可視化や、ちょっとしたツール作成に便利です。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **図解の生成例**

- 「太るメカニズムと痩せるメカニズムをCanvasでSVGで図解して」※画像生成にならないよう注意
- win+shift+Sでキャプチャ

- **他にも**

- 「この業務フローを図で説明して」
- 「組織構造を図にして」
- ※ホントはGPTよりGeminiやClaudeのほうが上手です

HTMLページを作る

実際にAIを使って、母の日の特集ページを作ってみます。どのように生成されるか見てみましょう。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- 例1

- 「私が運営する〇〇屋についてネットで調べて把握して」
- 「この店のギフト商品を使って母の日特集ページを作って。Canvas機能を使って」

- 例2

- 「ネットで〇〇社の〇〇事業について調べて」
- 「この事業の説明資料を作って。Canvas機能を使って」
- ※ホントはGPTよりGeminiやClaudeのほうが上手です

文章をリサイクルする

過去に作った良い文章を、別の用途に再利用できます。構成やトーンを保ったまま内容を転換できるので効率的です。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- **文面リサイクルの例**

- 「以下は年末年始休暇の案内文です。GW向けに書き換えて」
- 「この商品説明文を別商品用に作り直して」

- **応用パターン**

- 過去の成功パターンを横展開できる
- ブログ、メルマガ、研修資料などに活用
- ※ホントはGPTよりClaudeのほうが上手です

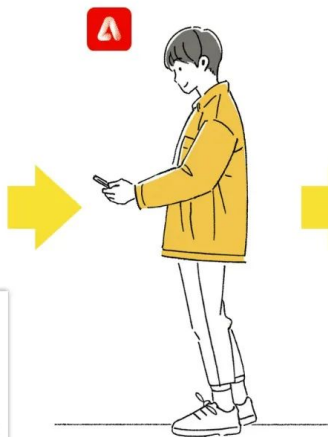
ツールを作る

HTMLだけでなく、図解や簡易ツールも作れます。業務フローの可視化や、ちょっとしたツール作成に便利です。→ **自分の用途を考えてみましょう**

- 「テキスト読み上げツールを作って。Canvas機能で」
- 「HTMLビューワーを作って。Canvas機能で」
- 「暗算ゲームを作って。Canvas機能で」
- 「URLを記入するとQRコードを生成するツールを作って」

画像生成AIの解説

画像生成AIは、実用レベルに到達しました。ただ、テキスト版のAIと違って、色々注意点があります(ex.日本語の文字入れは苦手)。解説していきます。事例



画像生成の基本1 (Text-to-Image)

ここから画像生成の基本を、3ステップで紹介します。まずは文字で画像生成。具体的に書くことで精度が上がるが、かなり手間です。

- **テキストから画像を生成**

- 例:「快晴のビーチに、瓶ビールが置いてある写真。商品のイメージ写真として生成」

- **結果**

- でも面倒
 - 具体的に書くと精度が上がるが、手間・・・
 - どうするか？

画像生成の基本2(Image-to-Text)

Step2です。「画像を渡して、言語化してもらおう」。プロが作ったいろんな構図・画像から学んで、似たような画像を作れるようになります。

- **画像からテキストを生成**

- 例:「この写真を、画像生成プロンプトとして表現して」→「画像を生成して」
- https://www.commerce-design.biz/clip/20251117014206_YBg3ro1V.png

- **結果1(プロンプト生成)**

- **結果2(画像生成)**

画像生成の基本3 (Image-to-Image)

Step3です。既存の画像と、イメージ画像を、組み合わせて使います。具体的には、さっき作ったプロっぽい画像の中に「自分の商品を当てはめます」。

- **既存画像をもとに別の画像を生成**
 - 例:「この商品画像で、以下の構図で生成して」
- **結果1 (ChatGPTの場合・惜しい)**
- **結果2 (Geminiの場合・完璧 !)**

画像生成の「重要な前提条件」

画像生成AIを使う前に、必ず理解しておくべき重要な制約があります。

- **AIは商品を正確に再現できない**
 - 形状、色、ロゴ、文字などが変わってしまう
 - 商品の正確な再現が必要な場合は、AIはNG。実写が基本
- **AI生成はあくまで補助ツール**
 - モックアップとして使う(検証用・提案用)
 - イメージ写真として使う(注釈を追記)
- **今後の見通し**
 - ルールが追いついてない状態(実物と違う問題が想定される)
 - ECモールなど各社でガイドラインが整備されてくるはず

個人利用③: 加工する

(Gemini3 + NanoBananaPro 編)

Gemini3デモ: 画像生成編 (NanoBananaProを使用)

用途例を大量に見せていきます。

● 商用利用は OKですが、条件あり

- AIによる生成画像を意味するウォーターマーク(右下の印)を削除するのはNG
- 月1.8万円の「Google AI Ultra」で非表示にできます(人間に見えない「透かし」になります)



気になる「商用利用の可否」

2025年11月版 Gemini 3 生成画像・写真の商用利用ガイド（Google規定準拠）

商用利用は原則可能！

無料版（個人用）



商用利用OK



データの扱い：学習データに
使用される可能性あり



権利保護：原則なし（法的補償なし）

有料版（企業用 Workspace/Vertex AI）



商用利用OK



データの扱い：学習データに使用
されない（プライバシー保護）



権利保護：あり（知的財産権補償制度対象）

共通の注意点・リスク（規約違反・法的責任）



禁止コンテンツ生成



暴力



ハヤスピーチ



ディープフェイク



他者の権利侵害



著作権キャラタ



芸能人似像



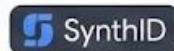
商標



投賊



透かしの削除・偽装



ウォータマーク



マスク

※最終的な権利侵害の確認責任はユーザー自身にあります。最新の利用規約をご確認ください。

「AIが一発で作ったページ」と、人間が作ったページ。実はAIのほうが良いかも？

- **LP生成のサンプル**

- リサーチしてそのまま生成する。
- オリジナル(AI生成のほうが良いかも)

- **html生成に便利なツールの紹介(CodePen)**

- <https://codepen.io/gzdshrbo-the-builder/pen/myPqbYz>

休憩

社内展開編

まず、個人として使いこなす。
次に、会社全体でAIを活用していく。

- 前回のおさらい
- 個人利用編
 - 収集する: 社内外から情報を集め、まとめる
 - 分析する: 文章・画像・数字を分析し、価値ある情報を引き出す
 - 加工する: 文章や画像や図解やHTMLやツールを作る
- 社内展開編
 - 定型プロンプト : AI用途を誰でも使えるテンプレにして配る
 - 業務フローのAI化: 業務を俯瞰し、独自プロンプトを作る

社内展開: 定型プロンプト

なぜ定型プロンプトが必要か

AIを社内で広めるには、「誰でも使える形」にすることが重要です。そのために定型プロンプト（テンプレート）を作ります。

- 「汎用」は重い。「専用」は簡単

- 「AIは色々な用途があるよ！試してみよう」→ 重い
- 「AIを使って、レビュー返信して。手順はこちら」→ 簡単
- 「自分で考える」と面倒。定型にすれば誰でもAIを使える。

- 特定用途専用の「定型プロンプト」の役割

- 成功パターンをテンプレート化
- 穴埋め式で誰でも使える。品質を一定に保てる

単機能・穴埋め式の「指示のテンプレ(プロンプト)」を作って社内配布しよう。
以下は、「メルマガ件名を作る定型プロンプト」です。

命令文

以下のメルマガ本文を参考に、売れる件名のアイデアを 20コ出してください。

入力文(メルマガの本文)

※ここにメルマガ本文を貼り付け※

処理手順

最初に【】でアピールポイントを書く。20文字以上。

以下はお手本の件名です

- ・【母の日】早割り 10%オフで、忘れないうちにお得に準備！
- ・【限定50セット】お母さん喜ぶ！お花とお菓子のセットが今だけお得
- ・【今なら選べる】当日着も OK！母の日フラワーギフトを早割りで！

出力文

以下のように「**見出しをつけながら書く**」と書きやすいです(必須ではない)。

※この書式は、深津さんという人が作った「深津式プロンプト」と呼ばれてます。

命令文

あなたは、〇〇係です。〇〇をしてください。

入力文(加工する素材)

<ここに入力文章>

処理手順

- ・文字数は300文字でいど。
- ・小学生にもわかりやすく。
- ・重要なキーワードを取り残さない。
- ・文章を簡潔に。

出力文

色々試した結果、「レビュー返信プロンプト」が一番好評でした。
練習にも良いので、ぜひ日頃から使うようにしてください。

解説

「お客様からのレビュー」をChatGPTに渡すと、**代わりに返信内容を考えてくれます**。「相手の言葉を引用して返信する」ことで、寄り添い感を演出しています。イマイチなときはリロードしてください。

AIは、それなりにコピーを書けますが、特技を活かすなら「**良い素材を渡して加工させる**」方がオススメ。**散らかってても良いので、沢山ヒントを渡してください。**

解説

商品情報をもとに、ChatGPTに商品紹介文を作成させます。**散らかった情報や雑多なメモからでも、ChatGPTが綺麗な商品紹介文を作ってくれます。**

AIは、言語や数字の分析も得意です。従来のレビュー分析では、テキストマイニングという方法を使っていたのですが、AI時代になって全然精度が違います(遠い目)。

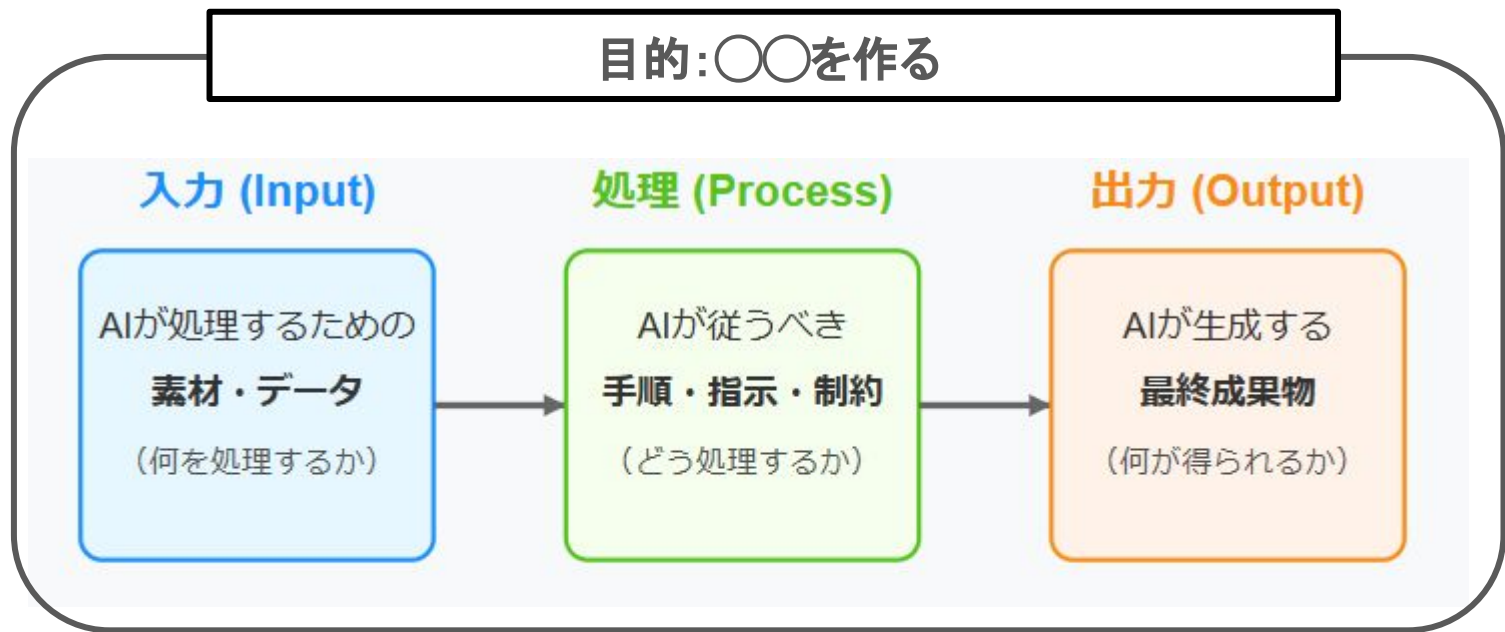
解説

特定商品の「レビューの傾向」を分析します。お客様が商品を褒めているポイントや不満点を特定し、それを運営上の重要な情報として活用します。

社内展開：独自プロンプトの作成

定型プロンプトを書いてみよう

プロンプトは、以下の要素からできています。(人間の作業マニュアルも同じ)
何かを入力すると、処理されて、出力されます。IPOと言います。



以下のプロンプトの、目的/input/processはどれでしょうか？（outputは出力結果）

命令文

以下のメルマガ本文を参考に、売れる件名のアイデアを 20コ出してください。

入力文(メルマガの本文)

※ここにメルマガ本文を貼り付け※

処理手順

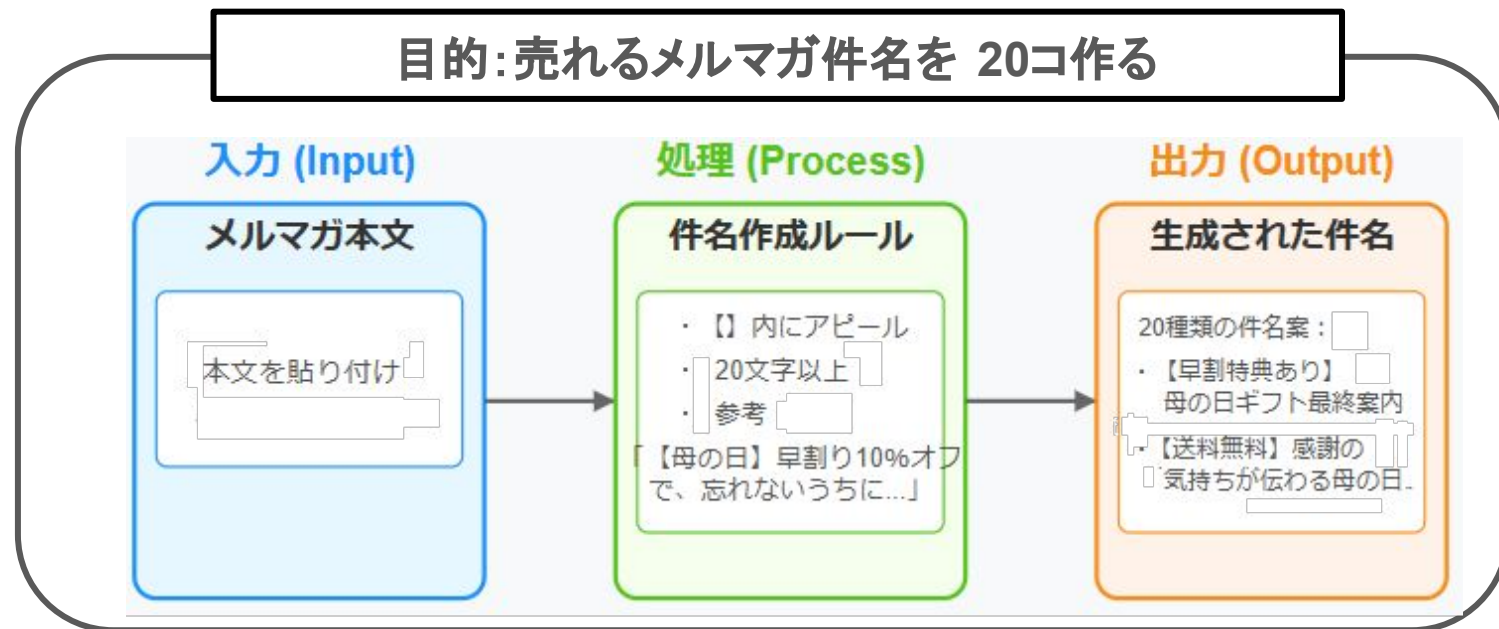
最初に【】でアピールポイントを書く。20文字以上。

以下はお手本の件名です

- ・【母の日】早割り 10%オフで、忘れないうちにお得に準備！
- ・【限定 50セット】お母さん喜ぶ！お花とお菓子のセットが今だけお得
- ・【今なら選べる】当日着も OK！母の日フラワーギフトを早割りで！

出力文

命令文(目的)を実現するためのinputとprocessがあれば、outputが得られます。



以下のプロンプトの、目的/input/processはどれでしょうか？(outputは出力結果)

命令文

あなたはネットショップのベテランスタッフです。お客さんが書いたレビューに対して、お店からの誠意のある&親しみやすい返信コメントを作ってください

入力文

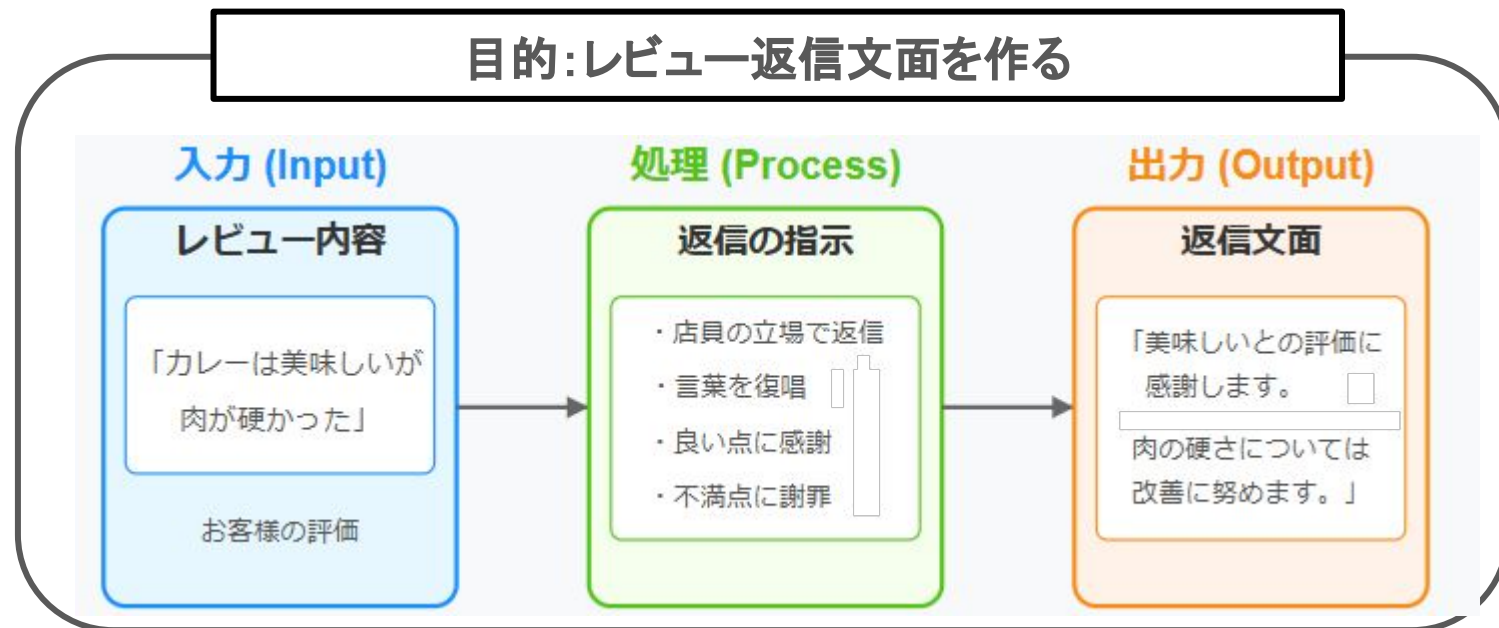
カレーとしてはとても美味しかったけど、ちょっと肉が硬かったかな。

制約条件

- ・相手の言葉を拾って復唱しながら書くことで、寄り添ってください。以下は参考です。
- ・相手が満足したところに対しては「○○してくれているとのこと。ありがとうございます」
- ・相手が不満や使いづらさがある場合は「○○とのこと、申し訳ありません。改善に努めます」
- ・emoji・画像アイコンは文字化けするので使わないでください。

出力文

命令文(目的)を実現するためのinputとprocessがあれば、outputが得られます。



独自プロンプト開発のコツ

うまくいったやり取りを振り返り、それをAIに「プロンプト化してもらおう」のがラクです。「いまのやつ良かったな！」と思ったら、忘れる前にプロンプトにしましょう。

● 作成手順

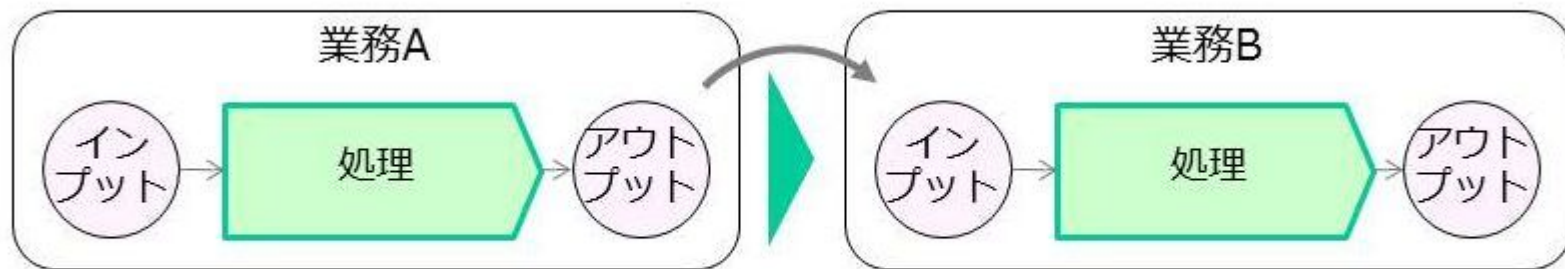
- いいやり取りが出来たな—と思ったら、以下の指示をする
 - 「今やった作業をプロンプトにして」
- 結果を確認して、保存する
 - プロンプトには、目的と、inputとprocessがあるはずです。
 - 各項目をお好みで調整 → 社内で共有・配布

● やってみよう

- 「今やった作業をプロンプトにして」と依頼
- 問合せ対応やメルマガ/SNSなど、定型繰り返し業務がおすすめ

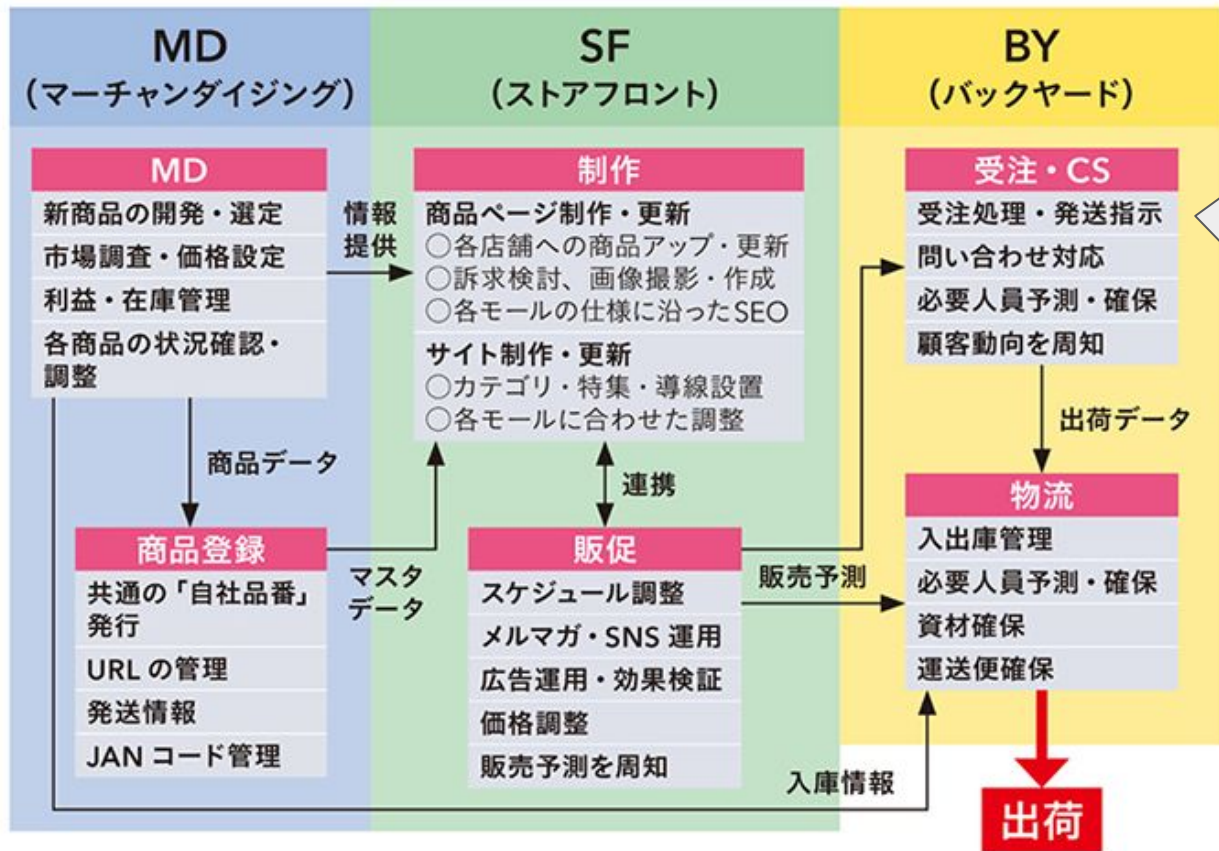
社内展開：業務フローのAI化

業務フローとは、業務の「流れ(フロー)」です。
1つ1つの業務(IPO)が繋がって、ボタンリレーのように連鎖していきます。



あるプロセスのアウトプットは
次のプロセスのインプットとなる

ECの業務フローとは



業務は流れ(=フロー)で
出来ています。

流れが滞ると、
事業全体が停滞します。

詰まりがちなフローはどこ？
AI化できない？

「一度に全てをやってくれるプロンプト」は不可能。だから、**業務を細かいステップに分けて、「一部をプロンプト化する」**。メルマガの件名をプロンプトにするなど。

広告運用AIの事例（ステップごとにAI化しています）

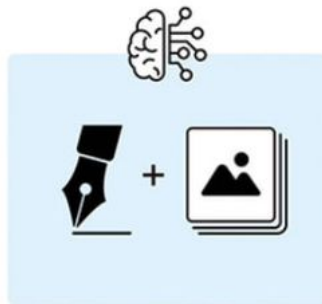
01 AIで
訴求軸を発見

訴求軸発見 AI



02 AIで
CRを自動生成支援

CR生成 AI



仕上げは人が担当

03 AIで
CRの効果予測

効果予測 AI



04 AIで
CRの効果改善

効果改善 AI

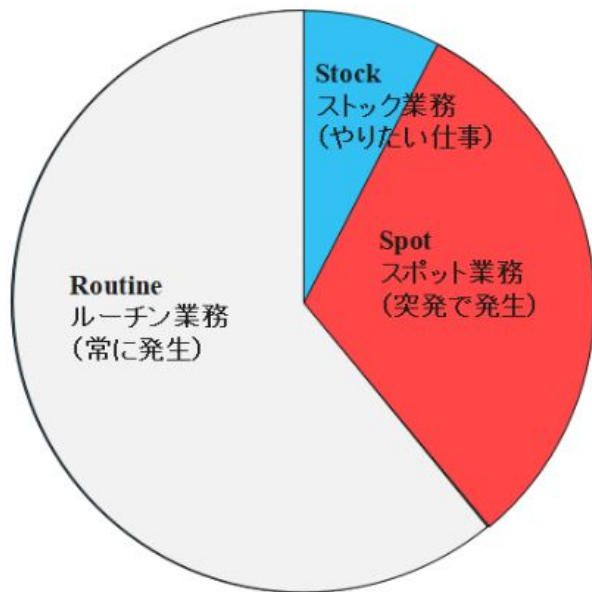


例: 進行表とAIを組み合わせる（商品登録～画像制作～の場合）

例は、商品登録～制作～販売開始の進行表。各案件がどこまで進んだかを可視化しています。この中に、定型プロンプトを埋め込みます（訴求の検討や画像制作など）。

商品登録進行表			商品情報登録		商品ページ制作準備			商品ページ制作		販売開始準備	
			山田	山田	田中	田中	西川	西川	原島	原島	原島
品番	商品名	納期 (発売日)	マスタ登録	クロスモ- ル登録	素材集め	訴求確定	撮影	画像制作	説明文制作	各モ-ルへ 情報反映	在庫設定
SAMPLE-111	あああ	2/4	2/2済	2/2済	2/3済	2/3済	なし	作業中	2/6済	2/6済	2/6済
SAMPLE-222	いいい	2/5	2/5済	2/5済	まだ途中	2/3済	なし	作業中	2/6済	2/6済	2/6済
SAMPLE-333	ううう	2/10	2/8済	2/8済	まだ途中	2/3済					
SAMPLE-444	えええ	2/15	2/11済	2/11済	まだ途中						

最も効率化しやすいのは、無意識に時間浪費している「ルーチン業務」。ここをAI化する。



※弊社EC研修から抜粋

• Stock スtock業務

- 普段から「いつかやろう」と思って、貯めているアイデアや企画たち。
- しかし、時間がなくて凍結状態。
- これが増えると、事業は育つ。

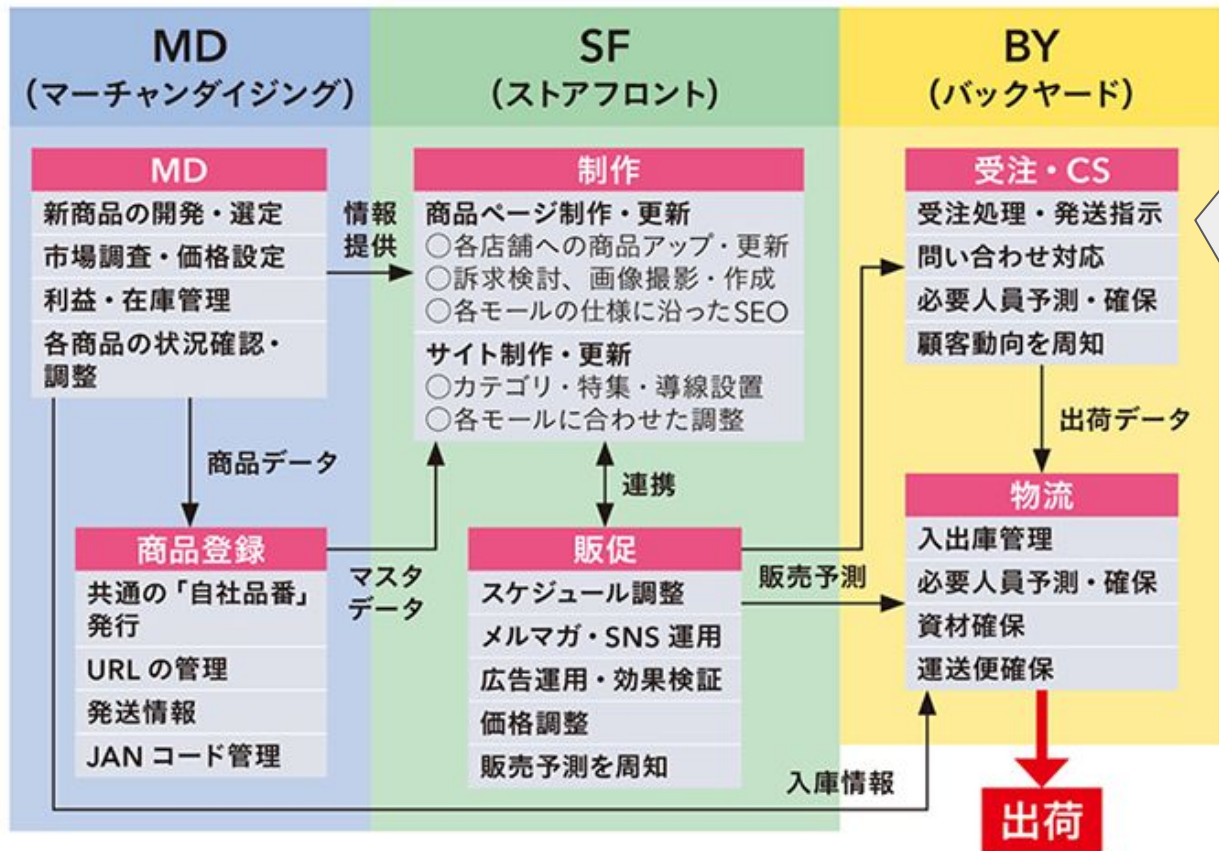
• Spot スポット業務

- 突発で発生。巻き込まれ型。
- 事前に防ぐことが難しい。

• Routine ルーチン業務

- 常に発生。時間の多くを占める。
- 事前に予想できる＝対処可能。
- ここを大きく減らして時間を作る。
- 業務削減・効率化・移管するなど。

AIで、EC業務を変革しよう



弊社では、
EC事業向けのプロンプトを
50個ほど作って活用中。

当社用プロンプトも
それ以上に作りました。

業務フローのAI化率を高めて

- ・1人～小さい組織でも、
- ・スピードを上げて、
- ・費用を抑えて、
- ・顧客へ価値を提供し、

幸せな商売を作れるはず！
皆で幸せになりましょうー

まとめ

AI活用は「個人で使う」段階から「組織で活かす」段階へと進化していくプロセスです。今日はその全体像を学びました。

- **1 初心者編**

- まずコマのすけから始めて、スマホ版や画像生成も試そう

- **2 個人利用編**

- 収集する: 社内外から情報を集め、まとめる
- 分析する: 文章・画像・数字を分析し、価値ある情報を引き出す
- 加工する: 文章や画像や図解やHTMLやツールを作る

- **3 社内展開編**

- 定型プロンプト : AI用途を誰でも使えるテンプレにして配る
- 業務フローのAI化: 業務を俯瞰し、独自プロンプトを作る

次のアクション

今日学んだことを明日から実践するために、具体的なアクションを決めましょう。

- **今日中にやること**

- **どんどん使う！2週間、毎日 AIを使ってください！**
 - 今日見つけた「自分の用途」を1つ以上試す
 - 付箋に書いてPCに貼るなどして忘れないように

- **1ヶ月以内にやること**

- AIに慣れてきたら、定型プロンプトを作ってみよう
- 社内の誰かに渡して試してもらう
- 社内業務のうち、いくつかをAI化してみよう

AIは幅広いサポートをしてくれますが、**案外「人間側の判断能力」が課題**になりがち。
作業や相談はできても、人間には**大局観を持つための勉強・トレーニング**が必要です。

「人間側」がボトルネック

-  「自分のEC事業」への理解が浅いので、AIに作業サポートしか依頼できない
-  数字が読めないなので、AIにデータ分析を依頼できない or 解釈できない
-  施策の良し悪しの判断基準がないので、AIの提案のうち、どれがいいのか分からない
-  業務や事業の全体像がわからないので、AIの使い所がイメージできない

AIを活用するには、「EC事業への理解」も重要

-  EC事業への理解を深めつつ、
-  同時にAIを活用していくことで「好循環」を作る